

### 『わんぱくフェスティバル2015』

10月25日(日) 10時〜、神奈川県立保健福祉大学を借用して、実行委員会5団体(ポークイスクウト、ガールズスカウト、子ども会指導者協議会、県立大学国際交流ボランティア「アナーコット」、青少年育成推進員連絡協議会)の主催で行われました。屋外パフォーマンスと模擬店に13団体、ステージ発表に12団体の協力・参加をいただき、来場者約4千人と大盛況でした。



芦澤実行委員長(当協議会会長)

このフェスティバルは、市内の青少年関連団体が一堂に会して、  
 ● お互いの理解と交流を図ること  
 ● 広く市民に参加を呼びかけ、青少年活動の意義や楽しさ、団体活動に対する認識を深めてもらうこと  
 を目的として、毎年開催されています。

25回目までは文化会館、26回目は総合福祉会館、27回目から同大学で開催しており、今回で32回目となります。  
 会場の様子については、写真を見ていただくとして、以下に、こ

のフェスティバルが、どのように企画・運営されているかをご紹介します。



実行委員会は5月に発足し、半年間に6回開催されます。開催場所・運営方法などの確認や協力団体の選出方法、PR方法、各種依頼・届け、スタッフの選出・役割分担などが協議されます。  
 実行委員会で協議・決定された

内容に従って、

● 出演団体の公募・決定・全体会議

● PRとして、チラシの原稿・印刷・配布、立て看板・横断幕等の作成、ミニコミ紙・FM局などへの依頼

● 各団体からのスタッフの選出・スタッフ全体会議

● 借用・購入物品の手配、保健所・消防署・保険所等への届け、協賛団体への協力依頼

などの事務処理を進めますが、少ない予算の中でのやりくりがとても大変です。

フェスティバル前日は、地割り、看板類の設置、舞台セットとリハーサルなどの準備で、半日を費やします。

当日は朝の2時間で、机・椅子・備品の借用(どこから借りる?)と、各ブースへの分配、駐車場の整理などに追われながら、オープニングを迎えます。

以上のように、青少年育成関連団体により企画・運営されている「わんぱくフェスティバル」ですが、ここ数年の大学側のご協力には、特に感謝しています。

準備段階では会議用の教室を貸してい



ただいたり、19時以降の下見を許可していただいたりしました。当日は各施設の使用許可はもとより、アナーコットによる学内探検ツアーや食生活相談のシーラボ開催の他、食堂の臨時営業にもご配慮をいただいています。

とは言え、悩みのタネが無いわけではありません。一つは、電気関係の維持管理に、コストが掛かることです。もう一つは、来年から2年かけて大学の外装工事が予定されており、屋根付き通路(テント不要)の利用が制限されると思われることです。年々充実してくる屋外パフォーマンスをどうやって続けていくかが、大きな課題です。



第10回記念 中学校対抗ウォークラリー大会

『ペリー上陸の地、久里浜を歩こう!』

このウォークラリーは、横須賀市青少年育成推進員制度が始まった平成18年度から、続けられています。

これまでの大会

(年度 開催地 優勝校)	
H 18	観音崎公園 不入斗中学校
H 19	汐入・中央 公郷中学校
H 20	追浜 長沢中学校
H 21	野比・長沢 上の台中学校
H 22	大楠 長沢中学校
H 23	大矢部 長沢中学校
H 24	浦賀 鴨居中学校
H 25	不入斗 不入斗中学校
H 26	田浦 大津中学校

第10回記念大会

好天の晩秋、節目となる第10回ウォークラリー大会が、久里浜地区で開催されました。当日はラリー参加42チーム187人の中学生と、吉田市長をはじめ、引率・大会スタッフ113人を合わせて総勢300人。さらにマスコットキャラクターのオグリリン、ペリリン、新顔のヴェルリンと豪華な顔ぶれが揃い、大会を盛りあげてくれました。



大矢部中学校Aチームのリーダーが選手宣誓を行い、競技が開始されました。



『非行防止キャンペーン』が、9月～11月にかけて、横須賀市内7箇所で行われました。

(実施日 場所 地域部会)	
9月13日	ソレイユの丘 長井・武山・大楠
11月14日	津久井浜駅 野比・長沢・北下浦
11月14日	京急久里浜駅 久里浜・神明
11月14日	浦賀駅 浦賀・鴨居
11月14日	京急田浦駅 田浦
11月21日	衣笠駅 衣笠・池上
11月21日	北久里浜駅 公郷・岩戸・大矢部

今にも雨が落ちそうな昼下がりに、浦賀中学生徒6名、鴨居中学生徒12名、引率の先生、推進員、合計36名が浦賀駅前に集合。深夜外出禁止、インターネット利用マナー向上など、非行防止キャンペーンを展開しました。本降りに変わった午後2時前には、用意したティッシュ・チラシをすべて配り終わりました。

中学生たちが、このわずかな時間に様々なことを体験から学び、変化(成長)していく様子を、直に、



久里浜地区は、商店街、海沿い、ペリー公園、花の国を抜ける、海あり山ありのバラエティに富んだコースです。



参加者は、久里浜にちなんだクイズを解き、ゲームで競い、ポイントを稼ぎながら、最後までわからない平均タイム(本大会では、全チームの平均に近いタイムのチームほど、

また事後の感想文からも知ることができて、とても感動しました。がんばれ、中学生! 濱口幸治(浦賀駅周辺) 小雨降る中、中学生・先生方・地域の方・推進員の40名が集まりました。

写真撮影とキャンペーンの説明が終わるや否や、駅前や商店街のアーケードに一目散に駆け出していった中学生たち。雨に濡れても気にせず、大きな声で「非行防止キャンペーンです」とアピールしながら、買い物に来た人にチラシを渡していました。小さな子どもには腰をかがめて、近所の人に出会えば満面の笑みを浮かべて。はにかみながら歩み寄る姿も中学生らしいと感じました。お店の人も出てきて、お互いに頭を下げな

高得点を得られます)を予想しながら、ゴールを目指しました。



2時間ほどでラリーを終え、参加者は、青少年育成推進員の手作りのおにぎりや温かい豚汁で大満足。



さて、待ちに待った結果は、  
☆ 優勝 ☆ 田浦中学校Cチーム  
☆ 2位 ☆ 武山中学校Aチーム  
☆ 3位 ☆ 大楠中学校Aチーム  
でした。

参加した中学生は、先輩たちや地域の方からの聞き伝えで、この大会を身近に感じていたようです。感想を聞くと「仲間みんなで力を合わせて問題を解いたり、ゲームをしたりで楽しかったです」と返ってきました。さらに知っているようで知らない地元の再発見もあり、引率の先生や推進員にも楽しんでもらえたと思

がらチラシを受け渡す場面もありました。元氣いっぱい

の久里浜中の生徒のところに、先に配り終わった終始ニコニコの神明中の生徒が走って集まり、みんな声を合わせてキャンペーンを終えました。岡田安司(京急久里浜駅周辺)



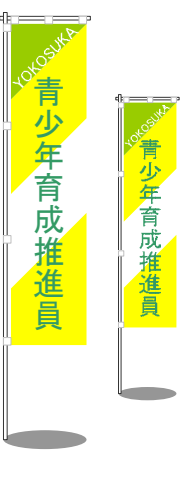
います。また今年は、横須賀市立総合高等学校バレーボール部の皆さんに、ゲームや運営を担当していただき、スムーズかつ賑やかに大会を終えることができました。【横須賀市立総合高等学校バレーボール部キャプテンの感想】「自分の地元の中学生以外と話すことがないので、そういう面で、総合高校の生徒として関わられたことが良かったと思います。」

入賞チームのインタビューから

去年は開催地だったのに優勝できなかったのが、今年には優勝できて嬉しいです。(田浦C) 去年は最後の方だったのですが、今年には上位で2位だったので良かったです。来年は頑張ります。(武山A) 3位になれて嬉しいと思いました。優勝できなかったのが、来年は頑張りたいと思います。(大楠A)



洋子&陽子&輝夫





第48回 神奈川県  
青少年指導員大会

11月15日 杜のホールはしもと  
「育てよう豊かな心・伸ばそう若い力」のスローガンのもと、相模原市少年鼓笛バンド連盟の一致団結した迫力ある演奏で始まりました。

主催者・来賓のあいさつのあと、永年にわたり青少年育成に尽くされた方々に、感謝状が贈呈されました。横須賀からは加藤和夫さん（追浜中学校区）、鈴木和子さん（大津中学校区）が表彰されました。



次に相模原市青少年指導員連絡協議会から「まるっとわかる相模原市の青少年指導員」と題して、各地域の紹介を兼ねた活動発表がありました。終わりに発表者自身のアコーディオン生演奏が用意されていたのには、会場も驚いていました。続いて「子どもを叱れない大人

たちへ」というテーマで、少年院篤志面接委員で落語家の桂才賀師匠より講演がありました。落語はお笑い・演芸と同じではなく、説法である何度も言われていたのがとても印象的でした。

すぐ本題に入らず、刑務所、拘留所、少年院での慰問活動に至るまでのいきさつから始まり、過ちを犯してしまった青少年の心の声を話されました。重い内容でしたが、涙あり、笑いありの巧みな表現力に圧倒され、そのような苦悩を抱えている相手とどう向き合うのか非常に考えさせられるひとときになりました。

テーマである「叱る」ということは過ちをなおしてあげること。まさに青少年育成推進員に投げかけられたことばであると痛感しております。

渡辺 美子

10周年記念講演

活動体験発表会

2月13日 青少年会館

【第1部】10周年記念講演「ことばのパス、情報のキャッチボール」コミュニケーションが勝負を決める」

講師の山本浩法政大教授は、NHKのスポーツ実況アナウンサーや解説委員を歴任された方で、ユーモアを効かせた独自の視点から、コミュニケーションの原点である

「あいさつ」について興味深いお話をしてくださいました。

ところで、言葉を生業とするプロのアナウンサーは、わずか一分のコメントでさえ、十回以上練習するそうです。

我々の実生活でのコミュニケーション「あいさつ」も、是非しっかりと日頃の「練習」を積んでいきたいと思いました。



【第2部】活動体験発表（常葉、長井および鴨居中学校区）

常葉からは、地域の構成員が一堂に集まる難しさを解消すべく、ITを利用した情報共有体制を構築していることが報告されました。

長井からは、非行防止とは「子どもが健やかに育つ環境を提供できる大人の育成」であるとの提言がなされました。



また、鴨居からは、大人による

市民目線の見守りが行われていることが、強くアピールされました。

亀田 章

ゆつやけこやけ

十年間朝夕一時間の犬の散歩をしています。

最近気になっていいるのが、道端に犬の落し物が多く見られることです。飼い主のマナーが気になります。

犬が糞をしてもそのままにして行く人や糞をしているのを見て、後始末をお願いすると、私の犬のものではないととぼける人など「糞害」に「憤慨」している一人です。

可愛い可愛いとペットを飼っている皆さん、散歩する時には自分の飼い犬の後始末は、飼い主の義務としてまた環境美化のためにも責任を持ってきちんと処理をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか？（K.S.）

編集後記

部会員皆様のご協力により、第20号を発行することができました。連絡協議会の活動を多くの方々知っていただくため、年間20回を越える会合を開いてきました。今年度は、紙面を横書きから縦書きに変更したり、行事に参加した子どもたちへのインタビューの記事に取り入れてみまいた。これからも皆様に親しまれる広報紙を目指して頑張っていきたいと思えます。（K.S.）